

(1) 平成24年度学校評価・校務分掌の中間報告(まとめ)

担当	今年度の分掌目標 (今年度の指導の重点達成のため、分掌で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の分掌目標達成のため、具体的に取組むべきもの)	取組度	取組の評価できる点・今後改善すべき点
教務部	学習指導の充実及び新学習指導要領への対応を図るため、校内における教育計画の改訂・整備をすすめる。	平成25年度入学生に対応する教育課程表の編成作業を完了するとともに、対応する生徒管理システムの構築を図る。	2	平成25年度入学生の教育課程表については、教科・コースの意見を集約して、案を完成する段階である。今後は、計画どおりに編成作業を進め、10月下旬の完了を目指したい。しかし、それに対応する生徒管理システムについては、現在のコンピュータの状況では対応することができず、不具合が発生することが懸念される。新たな方策については、しかるべき機関と相談を進めたい。
		総合的な学習の時間、道徳教育、特別活動について、関連する分掌と連携しながら全体計画を作成し、実施内容の整備を図る。	3	総合的な学習の時間の計画は学年・授業担当者に、道徳教育は授業担当者に、特別活動は進路指導部・学年に計画を任せている状況であり、全体計画としてまとめていない。今後は、現時点までの実施内容を整理・統合し、具体的に作成を進めていきたい。
		45分間完全授業の実施とわかる授業に取り組むことの徹底を図る。また、授業力の向上を図るため、教科及び教科間の授業研究の機会を設ける	3	始業前に教室に入りチャイムとともに授業を始めており、45分授業をしっかりと行っている。「わかる授業」については、今後も適切な生徒把握に努めながら十分な教材研究を行わなければならない。授業力向上について、今年度は新採用教員の授業公開および河目先生から若手教員への指導・助言を行っている。今後は、教科ごとに授業研究の日程を設けてもらうなど、教務部内全体の日程を設定していきたい。
総務部	<管理関係> 安心・安全な学校 一危険箇所の点検・解消、危機管理への対応	施設・設備の維持・管理に努める。	3	消防設備における消火栓配管が腐食漏水したため改修工事を行った。校舎の老朽化のため他の施設の不具合も顕在化してきているので点検をこまめに実施する必要がある。電力消費量が増加傾向にある。蛍光灯の引ききりとともに節電に努めたい。
		有事対応の危機管理について 非常用放送設備の保守・点検を行う。 危機管理マニュアルと防火管理規定などの見直しをする。	3	非常用放送設備の改修・増設工事が行われ、多目的校舎にも非常時の放送が可能となった。消防管理規定の見直しは終了し、次に危機管理マニュアルの見直しを行わなければならない。
		図書の実践と読書の啓蒙に努める。	3	図書委員により昼休み時間・放課後の開館が着実に実行されており、利用者も多い。また、朝読書の実施に伴い、生徒が本に触れる機会も増加しているため、さらなる図書の実践を図りたい。
		視覚機器の維持・管理に努める。	3	プロジェクターを修理したが、故障原因は衝撃によるらしい。教員・生徒を問わず、取り扱いには十分注意してほしい。しかし教室の機器は、業者にも修理部品の在庫がないので、大事に使わなければならない。
	<生徒募集関係> 本校の周知と魅力のアピール 一中学校への対応 一ホームページの充実	ホームページの内容をより充実させ、ホットで魅力ある情報を迅速に発信する。	2	学校行事等の記事や写真の更新は滞りしているが、部活動などの掲載記事更新のシステムができておらず、古い映像やデータがそのままになっている。更新システムの確立が急がれる。
		夏の体験入学の参加者を1,000人以上集める。	2	参加者が850名に留まり、目標に届いていない。広報活動や募集の時期などを再検討し、参加者数の増加につなげたい。参加者の満足度は高いが、企画内容を精査し中味のレベルアップを図りたい。
冬の受験講習会の参加者を400人以上集める。		—	12月実施なので、現在評価できる段階がない。	
生徒指導部	・挨拶や服装、容姿などの基本的な生活習慣の確立 ・生徒会活動の活性化 ・部活動の振興 ・いじめのない安心で安全な学校	登下校時の服装指導を徹底し、「だらしなさ」を排除する。	3	登校指導についてはよく取り組んでいる。下校指導については今後さらに指導に取り組みたい。
		生徒会を中心とした、生徒による自主的な生活指導の推進。	3	部活動ごとの朝の挨拶運動に取り組んでいる。集会での整理も生徒が行うようになっている。常任委員会での活動は、これから取り組んでもらうことを計画している。
		二高祭・芸術鑑賞会などの行事の見直しと内容の改善を行う。	4	二高祭の一般公開を従来の一日間から二日間にして、入場者も増えた。
		部活動支援コーチ制度の導入を検討する。	3	現在、導入にむけて計画が進んでいる。
		いじめについてのアンケートを実施する。	4	1学期中に実施し、アンケートに基づいて指導を行った。2学期も実施する予定である。
		昼休みや放課後の巡回指導を行う。	2	昼休みに集会などが多く、なかなか実施できない現状である。集会への行き帰りの途中で巡回を兼ねている場合もある。

担当	今年度の分掌目標 (今年度の指導の重点達成のため、分掌で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の分掌目標達成のため、具体的に取り組むべきもの)	取組度	取組の評価できる点・今後改善すべき点
進路指導部	進路実績の向上及びキャリア教育の推進を目的に、 進路指導項目の関連性を深める。	進路実績の向上—難関大学合格を含む個々の希望進路実現のための 学力の向上を図る。	3	各学年の学習合宿、2学年難関大学突破プロジェクトセカンドステージ、1学年SCの活動(放課後自習室・夜間自習室等)と具体的な取 組みが実施されている。成績伸長をデータ(模試等)でみて結果に反映されているか、11月や1月の模試の数値目標を立て、対策を講ず ることが必要である。
		キャリア教育の実践—社会を構成する一員としての職業人の育成を めざす。	3	昨年度までの取り組みに加え、朝読書や学外学習発表会等の充実が図られている。おおむね良好であるが、来年度の新学習指導要領に 応じたカリキュラムの編成(総合的な学習の時間等)を進めたい。
		進路情報の共有と研究—拡大進路部会議の定例化、情報ビジネス コース生の資格取得率の向上、英語検定取得者の増員など、学年・ コース・教科との連携を軸とする。	3	拡大進路部会議による情報の共有、学年・コース・教科との連携も深まっていて、各行事の内容がさらに向上する下地ができつつある。英語 検定取得の対策について、教科との連携を進めたい。
保健部	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の健康の維持と増進を図り、疾病予防に 努める。 けがや事故、災害発生時にスムーズな対応を行 う。 生徒の精神面のサポートを行う。 健康的な環境を整備する。 	各種検診や健康相談を実施する。	4	各校診を計画に沿って実施し、それらを基に治療カードを配布し、治療を促した。高橋先生のカウンセリングを受ける生徒を引率するなど、 生徒に寄り添うことができた。
		感染症等に対して、速やかな危機管理対応をとる。	3	感染症の流行は見られていないが、季節柄、今後対応できるように、できることを確認している。
		緊急連絡体制の確立。	3	年度始めに緊急連絡体制を作成し、各職員室に掲示するとともに全職員に配布した。 実際に緊急時に対応できるかのシミュレーション等が必要とされる。
		学年と連携したアドバンスルームの適切な運営。	3	学年と連携を取り、生徒に状況を見極めることに鋭意努めた。
渉外部	PTA行事や各種委員会活動への参加率を向上 させる。	案内文書の適切かつ確実な配付と出欠の確認。	3	案内文書の配布は実行されており、今後も続けたい。出欠の確認については、欠席者の確認にも力を注ぎたい。
		PTA活動の概要と予定が理解しやすい情報を年度初めに配布する。	3	1学年保護者には、PTA入会式にリーフレットを配布した。2・3学年の保護者にはPTA総会資料を配付したが、リーフレットは配布し なかった。
		ホームページ上に案内文書を適宜掲載する。	4	全体に関わる配布文書と行事報告は掲載した。今後も継続したい。
		3つのPTA委員会に改編し、実態にあった活動をする。	3	組織の改編はPTA総会で了承された。活動に関しては、これからの委員会もあるので、着実にやりたい。
		配布依頼する文書を、各学年主任と担任にも配布し、内容を共有 する。	4	昨年度の反省もふまえ、今年度前半は実施している。後半も続けたい。

(2) 平成24年度学校評価・学年の中間報告(まとめ)

担当	今年度の重点目標 (今年度の指導の重点達成のため、学年で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の重点目標達成のため、具体的に取組むべきもの)	取組度	取組の評価できる点・今後改善すべき点
1学年	<ul style="list-style-type: none"> 相手と場面を考えた言葉・形・行動を忘れない。 授業を大切に。そして家庭学習。学びの基本を身につける。 	挨拶、正しい言葉遣い、忘れ物をしない、時間を守ることは、繰り返し指導する。	3	校内の様々な場面で指導に取り組んでいる。ただし、教員によっては、授業開始時の指導などで、最後まで指導をせずに授業を開始してしまうという反省点もでた。今後改善すべき点は、生徒自身が「なおされるのではなく、自ら考えて修正できるようにする」態度の育成である。また、挨拶・言葉遣いの雑な生徒への指導をきちんと行いたい。
		ルール違反は放置せずに、すぐに指導する。	3	毎朝の登校指導など、様々な場面で指導に取り組んでいる。今後改善すべき点は特にないが、この態勢を継続することを忘れないようにしたい。
		「よりよい授業」「わかる授業」を実現させ、目標達成のための学力向上を図る。	3	概ねよく取り組んでいる。しかし、クラス全員に定着しているかは疑問である。今後改善すべき点は、より個人を意識した指導に踏み込む力が検証していくことである。
		学力の向上は能力ではなく、集中力と努力によりもたらされることを実感させる。	3	小テストの取り組みなどで成果をあげていると考えるが、個々に確認したならば、実感できている生徒は少ないかもしれない。今後改善すべき点は、集中力と努力の出発点となる「学習しなければならぬ」という意識を、どのような手法を用いて喚起すべきか、強制的な負荷が必要なのかを含めて検討していきたい。
		生徒に対する理解を深めるため、個別的な対応を意識して行う。	3	担任との面談や授業担当者による個別の声かけにより、学校生活や教科指導が充実した生徒もでてきている。今後改善すべき点は、まだ対応回数が少ない生徒への、回数を増やすことである。
2学年	中堅学年としての自己認識の確立	日常生活を充実させる。(家庭学習の習慣化)	3	生活記録ファイルの習慣化、火曜テストとそれに関連する指導、各教科ごとの週末課題の実施などしっかりできている。今後は、家庭学習の中身や家庭学習時間がゼロの生徒に対する指導が必要である。また、教科により家庭学習を習慣化させる策が弱いところが見られるので、改善を行わなくてはならない。
		一人ひとりの特性を伸ばし、個性豊かな生徒を育てる。(進路意識の確立)	3	学年進路係を中心に学年全体で計画的に取り組んでいる。校内外の学習プログラムへの対応や、上位者への指導がしっかりできている。中下位の生徒や志望未定の生徒とは、面談等で意識を変える必要がある。
		体力の増進を図り、健康・安全の指導を推進する。(自己管理能力、公德心の育成)	3	朝・日中、学年集会など学年全体として服装指導に取り組んでいる。チェックがはいる時以外の場面で乱れる生徒がいなくなるよう、意識を高めさせたい。健康・安全については、保健室のサポートのもとで担任中心によくなされている。体力の増進に対する指導も必要と思われる。
3学年	生徒の志望進路達成	受験生への変容(家庭学習、容儀、挨拶、言葉遣い)	3	概ね良好である。ただ容儀に関しては、目指す目標までは到達できていないので、指導を継続する。
		受験体制の確立・充実(講習、合宿、添削など)	3	多くの生徒は講習に参加し、添削を受けているが、どうしてもなんとかなると甘えを捨てきれない生徒もいる。
		AO・推薦入試への対応の早期スタートと実践	3	この学年はAO・推薦入試で勝負するしかないと判断して学年を進めてきたので、生徒も教師もその気で取り組んできた。

(3) 平成24年度学校評価・校務分掌の最終報告

担当	今年度の分掌目標 (今年度の指導の重点達成のため、分掌で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の分掌目標達成のため、具体的に取り組むべきもの)	取組度	取組の評価できる点・今後改善すべき点
教務部	学習指導の充実及び新学習指導要領への対応を図るため、校内における教育計画の改訂・整備をすすめる。	平成25年度入学生に対応する教育課程表の編成作業を完了するとともに、対応する生徒管理システムの構築を図る。	3	平成25年度入学生に対応する教育課程表が完成したほか、24年度入学生のカリキュラムをセンター試験の新方式に対応したものに變更し、情報ビジネスコースには簿記・会計を組み込んだ。これらの變更に対応するシステムを運用するための機能構築を早期に図りたい。
		総合的な学習の時間、道徳教育、特別活動について、関連する分掌と連携しながら全体計画を作成し、実施内容の整備を図る。	3	来年度の総合的な学習の時間の編成計画は現在進行中であり、3月中の決定を目指している。その他の項目については、関連する資料を収集し、進路指導部・生徒指導部と連携し、3年間の全体計画づくりを進めたい。
		45分間完全授業の実施とわかる授業に取り組むことの徹底を図る。また、授業力の向上を図るため、教科及び教科間の授業研究の機会を設ける	3	どの教員も始業ベルとともに授業を開始することに努めている。45分間をしっかりと行うための教材研究・授業力向上に向けた姿勢づくりを進めるため、今年度は新採用教員の授業研究を定期的に行ってきた。来年度はこの機会をさらに拡充しなければならないと考えている。
総務部	<管理関係> 安心・安全な学校 —危険箇所の点検・解消、危機管理への対応	施設・設備の維持・管理に努める。	3	消防設備における消火栓配管が腐食漏水したため改修工事が完了。他にも校舎や施設が老朽化・経年劣化してきているため各設備の不具合も顕在化してきている。特に、冬期間はボイラー配管の蒸気漏れが相次ぎ発生し修繕工事が続いている。
		有事対応の危機管理について 非常用放送設備の保守・点検を行う。 危機管理マニュアルと防火管理規定などの見直しをする。	3	非常用放送設備の改修・増設工事が行われ、全校舎に非常放送が可能となり、有事対応力が向上した。緊急時に使えるよう操作手順に習熟する必要がある。消防管理規定の見直しは終了、危機管理マニュアルの見直しを行わなければならない。
		図書の実践と読書の啓蒙に努める。	3	図書委員により昼休み及び放課後の開館は1年間確実に実施され、利用者も多かった。また、朝読書の習慣が定着し、生徒が興味関心を示す本の分野も広がってきているため、さらなる図書の拡充を図る必要がある。
		視聴覚機器の維持・管理に努める。	3	プロジェクターの修理が終わる。被服室のテレビモニターは故障軽微ということで継続使用。LL教室の機器は今のところ故障せずに運用されている。LL機器は業者に部品在庫切れで修理不能という、引き続き大事に使ってきたい。
	<生徒募集関係> 本校の周知と魅力のアピール —中学校への対応 —ホームページの充実	ホームページの内容をより充実させ、ホットで魅力ある情報を迅速に発信する。	3	学校行事や部活動などの記事や写真の更新が速やかに行われるようになった。さらなる更新システムの向上が求められる。他の私立高校は業者を入れレイアウトの美しいものが多い。本校も素人なりに魅力あるホームページをめざしたい。
		夏の体験入学の参加者を1,000人以上集める。	3	参加者が850名に留まり、目標に届いていない。広報活動や募集の時期などを再検討し、参加者数の増加に繋げたい。参加者の満足度は高いが、企画内容を精査し内容をレベルアップし、より中学校にアピールできるものにした。
冬の受験講習会の参加者を400人以上集める。		3	参加者は340名、前年度より110名以上減少する。企画案内の周知徹底を図ったが、目標の85%止まりである。実施日が中学校の行事(授業参観・検定試験など)に重なったこともあるので、実施時期などの検討も必要と思われる。	
生徒指導部	・挨拶や服装、容儀などの基本的な生活習慣の確立 ・生徒会活動の活性化 ・部活動の振興 ・いじめのない安心で安全な学校	登下校時の服装指導を徹底し、「だらしなさ」を排除する。	3	登校指導については引き続きよく取り組まれており、生徒の挨拶等もよくなっている。下校指導は継続しての実施が困難な状況にあり、やり方についての検討が必要である。
		生徒会を中心とした、生徒による自主的な生活指導の推進。	3	ローテーション以外でも進んで対策運動を実施してくれる部活動もあり助かっている。しかし、生徒会からの働きかけが不十分だったのか、委員会の取り組みがなかった。
		二高祭・芸術鑑賞会などの行事の見直しと内容の改善を行う。	4	来年度の芸術鑑賞会は、地元から検討したい。
		部活動支援コーチ制度の導入を検討する。	4	顧問会議を招集し、詳細を伝達済。該当の部はコーチの選定に入っている。必要経費についても、来年度の予算に組み入れる予定である。
		いじめについてのアンケートを実施する。	4	予定どおり2回実施済。アンケートの回数を増やすことについて今後検討したい。
		昼休みや放課後の巡回指導を行う。	2	相変わらず昼の巡回はきびしい状況にある。やり方について根本的に検討する必要がある。

担当	今年度の分掌目標 (今年度の指導の重点達成のため、分掌で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の分掌目標達成のため、具体的に取組むべきもの)	取組度	取組の評価できる点・今後改善すべき点
進路 指導部	進路実績の向上及びキャリア教育の推進を目的に、 進路指導項目の関連性を深める。	進路実績の向上—難関大学合格を含む個々の希望進路実現のための 学力の向上を図る。	2	AO・推薦入試対策の面において一定水準に達した点は評価できる。学力の向上の点では外部模試の数値目標には足りず、また、放課後の学 習体制にも改善の余地がある。
		キャリア教育の実践—社会を構成する一員としての職業人の育成を めざす。	4	総合的な学習の時間を活用した取り組みを中心に充実が図られており、おおむね良好であるが、次年度に向けて新学習指導要領に対応した内 容に進展させる必要がある。
		進路情報の共有と研究—拡大進路部会議の定例化、情報ビジネスコ ース生の資格取得率の向上、英語検定取得者の増員など、学年・ 教科との連携を軸とする。	3	情報の共有と研究が進み、各行事の内容が更に向上する下地まできつつある。資格・検定の受検数や取得率等を検証して、その後に活かす為 のコースや教科との一層の連携が課題である。
保健部	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の健康の維持と増進を図り、疾病予防に 努める。 けがや事故、災害発生時にスムーズな対応を行 う。 生徒の精神面のサポートを行う。 健康的な環境を整備する。 	各種検診や健康相談を実施する。	4	各校診を計画に沿って実施し、治療カードで治療を促した。副時、時田先生の協力を得て適切な健康相談に応じた。カウンセリング選定の生 徒を引率するなど、生徒に寄り添う対応ができた。
		感染症等に対して、速やかな危機管理対応をとる。	3	感染症の発症例はあったが、適切に注意を促すことで流行への対策を行った。発症が現場で見られた際（例えば、嘔吐物などがあった場合） の対応についてのシミュレーション等の必要性はある。
		緊急連絡体制の確立。	3	年度始めに緊急連絡体制を作成し、各職員室に掲示するとともに全職員に配布し、周知の徹底を行った。実際に緊急時に対応できるかのシ ミュレーション等の必要性はある。
		学年と連携したアドバンスルームの適切な運営。	4	学年及び学級担任と連携を取り、生徒の状況の把握と見極めに鋭意努めた。
渉外部	PTA行事や各種委員会活動への参加率を向上 させる。	案内文書の適切かつ確実な配付と出欠の確認。	3	案内文書は実施の二ヶ月前には配布しており、今後もこれを続けたい。出欠の確認については、特に欠席者の確認に努力したい。
		PTA活動の概要と予定が理解しやすい情報を年度初めに配布する。	3	1学年保護者には、PTA入会式にリーフレットを配布した。2、3学年の保護者にも次年度は配布したい。
		ホームページ上に案内文書を適宜掲載する。	4	全員に関わる配布文書は、PDFファイルでダウンロードできるようにした。また、各行事後のレポートも適宜掲載した。今後も継続した い。
		3つのPTA委員会に改編し、実態にあった活動をする。	3	組織の改編は実施したが、活動内容に関しては、次年度に確定させたい。
		配布依頼する文書を、各学年主任と担任にも配布し、内容を共有 する。	4	今年度は実施された。

(4) 平成24年度学校評価・学年の最終報告

担当	今年度の重点目標 (今年度の指導の重点達成のため、学年で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の重点目標達成のため、具体的に取り組むべきもの)	取組度	取組の評価できる点・今後改善すべき点
1学年	<ul style="list-style-type: none"> 相手と場面を考えた言葉・形・行動を忘れない。 授業を大切に。そして家庭学習。学びの基本を身につける。 	挨拶、正しい言葉遣い、忘れ物をしない、時間を守ることは、繰り返し指導する。	3	校内の様々な場面で指導に取り組んでいる。全体として評価できるものの、会釈だけで声が出ていない生徒、場所・立場に応じた正しい言葉遣いができない生徒が見受けられる。今後も引き続き「自ら考えて修正できるようにする態度」の育成を図ってきたい。
		ルール違反は放置せず、すぐに指導する。	3	中間報告後も毎朝の登校指導など、様々な場面での指導に取り組んでいる。生徒によっては、指導後にすぐルール違反をする生徒もおり、指導効果は十分とはいえない。今後もこの態勢を継続しながら、やはり「自ら考えて修正できるようにする態度」の育成を図ってきたい。
		「よりよい授業」「わかる授業」を実現させ、目標達成のための学力向上を図る。	3	概ねよく取り組んでいる。しかし、中間報告で改善すべき点として挙げられた「より個人を意識した指導」については、すべての教科が踏み込めていない。
		学力の向上は能力ではなく、集中力と努力によりもたらされることを実感させる。	3	授業内容の深化・授業スピードの変化とともに、「集中力と努力を実感できている生徒」が減少していることは予想に難くない。たとえば、指名制によるFゼミを新設したが、「自らの集中力と努力を高める場」に活用できていない生徒が多い。人年度に向けて、更にもどのような手法を用いるか検討してきたい。
		生徒に対する理解を深めるため、個別的な対応を意識して行う。	4	担任や授業担当者は、こまめに面談や声かけを行っている。心細い生徒については、多くの教員が関わり、円滑な指導と情報の共有ができるように、学年付き教員を中心に面談を行っている。今後もこの態勢を維持しながら、対応回数が少なく理解不足の生徒がでないようにしたい。
2学年	中堅学年としての自己認識の確立	日常生活を充実させる。(家庭学習の習慣化)	3	学習面においては、各教科とも学習時間確保のための課題提出がなされるようになったり、記録ファイルの定着化により、家庭学習の習慣化がなされつつあるところは評価できる点といえる。ただし、火曜テストの不合格者がいっこうに減らない現状を考えれば、形だけの学習時間増加ではなく、中身の伴った学習時間の増加につなげていく工夫が必要といえる。
		一人ひとりの特性を伸ばし、個性豊かな生徒を育てる。 (進路意識の確立)	3	成績上・中位者へのプログラムは、395050プランなど着実にすすんでいるといえる。また下位者についても、ST12者面談などを実施できた点などは評価できる。しかし長期休暇のゼミについては、今年度から全員参加の形をとっているが、出席率のよくない生徒に対する意識付けの工夫が必要である
		体力の増進を図り、健康・安全の指導を推進する。 (自己管理能力、公德心の育成)	3	登校指導や全校集会での指導が功を奏し、服装面では大分改善が見られるようになったところは評価できる点といえる。ただ生活面においては、2学期後半にかけて、精神的な面から登校できなくなっている生徒が増えている。そういう生徒をフォローするような体制作りが急務といえる。
3学年	生徒の志望進路達成	受験生への姿容(家庭学習、容儀、挨拶、言葉遣い)	3	概ね良好である。受験を終えた者が多数存在して、卒業に向けて残された時間が限られている中で、今度は立派な卒業生への変容をめざしての指導を継続したい。
		受験体制の確立・充実(講習、合宿、添削など)	3	一般受験組は正規の授業だけでなく、放課後講習、冬ゼミ、センター試験直前講習など、隙間のない指導体制によくついてきている。
		AO・推薦入試への対応の早期スタートと実践	4	AO、推薦入試で勝負しなくてはならない者が大半を占めるであろうという判断から、早めのスタートを切り、20名の国公立大学合格という望外の成果を収めることができた。

(5) 平成24年度学校評価アンケート・全学年の生徒対象（集計結果）

評価項目	4 よくあてはまる そう思う	3 ほぼあてはまる ほぼそう思う	2 あまりあてはまらない あまりそう思わない	1 あてはまらない そう思わない	0 判断できない わからない	
						学習
	B 先生は個別の学習指導（添削・質問への対応・二者面談など）をしてくれていると思いますか。	31.2%	48.7%	12.6%	2.6%	4.9%
	C NSP（土曜出校日）の小論文講座・コース行事は、将来、役に立つ内容だと思いませんか。	16.1%	41.5%	22.9%	12.0%	7.5%
	D 先生は授業を始業ベルとともに始め、45分間の授業をしっかりと行っていると思いますか。	40.5%	44.5%	9.9%	3.0%	2.1%
生活	E 自分の教室は、いつも清潔で整理整頓が行き届いていると思いますか。	24.8%	48.9%	18.3%	5.6%	2.4%
	F 二高生は、服装・髪型がきちんとしており、あいさつが身についていると思いますか。	14.5%	47.6%	25.1%	7.5%	5.2%
	G 先生は生活指導（服装指導・あいさつ・問題行動への対応など）がきちんとしてくれていますか。	38.6%	46.6%	9.9%	1.9%	3.0%
	H 二高では、運動部および文化部の活動が、積極的に行われていると思いますか。	23.9%	44.5%	19.4%	5.8%	6.5%
進路指導	I 球技大会・文化祭・体育祭などの学校行事に、積極的に参加していますか。	46.1%	39.8%	7.9%	2.8%	3.5%
	J 二高では、生徒の一人一人のことをきちんと把握し、適切な進路指導が行われていると思いますか。	21.3%	45.4%	17.6%	7.2%	8.6%
	K 進路講演会・模試分析・進路センターなどで、進路に関する情報を十分に知ることができましたか。	20.8%	44.9%	19.0%	4.4%	11.0%
その他	L 担任の先生は、クラスの生徒を分け隔てなく、公平に接してくれていますか。	36.5%	43.6%	11.5%	3.1%	5.2%
	M 担任の先生は、生活や進路、部活動など、様々なことについて相談しやすいですか。	26.7%	45.0%	16.2%	5.8%	6.3%
	N 担任の先生が生徒にどのような行動を期待しているか、生徒の側からはっきり理解できますか。	21.8%	46.8%	17.6%	4.2%	9.6%
	O 二高は、あなたにとって誇りの持てる学校ですか。	24.6%	46.1%	14.8%	6.6%	7.9%

(6) 平成24年度学校評価アンケート・全学年の保護者対象（集計結果）

評価項目	4 よくあてはまる そう思う	3 ほぼあてはまる ほぼそう思う	2 あまりあてはまらない あまりそう思わない	1 あてはまらない そう思わない	0 判断できない わからない	
						学習
	B 教員は個別の学習指導（添削・質問への対応・二者面談など）を適切に行っていると思いますか。	21.8%	52.4%	14.0%	0.9%	10.9%
	C NSP（土曜出校日）の小論文講座・授業・コース独自の活動は、生徒にとって有益だと思いますか。	33.8%	44.7%	13.8%	1.7%	6.0%
	D お子様は、授業が楽しくわかりやすいと言っていますか。	7.2%	53.3%	23.8%	6.9%	8.9%
生活	E 学校の雰囲気がよく、生徒たちは生き生きとしていると思いますか。	25.2%	57.0%	11.5%	0.9%	5.4%
	F 学校は、お子様のことについての相談に適切に対応していると思いますか。	18.3%	57.0%	12.6%	2.9%	9.2%
	G 教員による生活指導（服装指導・挨拶・問題行動への対応など）がきちんとして行われていると思いますか。	26.6%	58.5%	9.7%	0.6%	4.6%
	H 運動部および文化部の活動が、積極的に行われていると思いますか。	18.6%	49.9%	18.3%	3.4%	9.7%
進路指導	I 生徒の能力や適正をきちんと把握し、計画的・組織的な進路指導が行われていると思いますか。	17.8%	50.7%	15.8%	3.2%	12.6%
	J 進路講演会・学年保護者懇談会による進路情報の提供が、十分に行われていると思いますか。	19.5%	53.3%	13.2%	2.0%	12.0%
	K 学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に、きめ細かく行っていると思いますか。	19.2%	56.4%	16.9%	4.0%	3.4%
その他	L PTAの各種集会について、PR活動や案内文の配布時期は適切だと思いますか。	18.3%	64.8%	7.2%	1.4%	8.3%
	M 本校の目標・進学実績・教育内容は、市内の他の私立高校とはっきりとした違いがあると思いますか。	23.2%	47.3%	11.5%	0.9%	17.2%
	N 学校は、自分の将来の生き方をよく考え、豊かな心を持った生徒を育てようとしていると思いますか。	16.0%	58.7%	10.6%	4.3%	10.3%
	O 本校の教育内容（授業・進路指導・生活指導）は、総合的に満足できるものですか。	21.8%	60.5%	10.3%	1.1%	6.3%